

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1991100155	
法人名	株式会社ツクイ	
事業所名	都留中津森グループホーム	
所在地	山梨県都留市中津森1033-1	
自己評価作成日	令和3年1月9日	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaiakensaku.mhlw.go.jp/19/index.php">http://www.kaiakensaku.mhlw.go.jp/19/index.php</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会
所在地	甲府市北新1-2-12
聞き取り調査日	令和3年3月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者一人ひとりのペースを持ち、ご自身の生活の維持向上のため、趣味活動や家事などの継続への支援を行っています。入居者、個々人に合わせた介助方法で生活リズムを保ち、生活リハビリ等を通して日々支援しています。1日1度の外気浴は開所から行っており、外気に触れることで季節を感じたり、地域の方やご近所の方との触れ合いを図るようにしています。年に2-3回家族会を予定し、日々離れて暮らしているご家族様との触れ合いの時間やいつものご様子を職員を交えながら行う機会を設けております。運営推進会議には民税委員の方が参加され、地域の方との連携を深められるように取り組みを行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は県の東部の郡内地方に位置し中央自動車道都留インターチェンジより車で3分、宝バイパス沿いの静かな住宅地にある。鉄骨造り2階建て、1階と2階の2ユニットになっている。事業主体の本社は横浜にあり、全国的に介護サービス事業を展開している。県内にもグループホーム2箇所、デイサービス7箇所の事業所がある。敷地内には同会社のデイサービスがあり、職員間の協力体制を築いている。研修、委員会、災害対策等すべての面において本社から適切なアドバイスを受けている。利用者のできることを生きがいにつなげるケアとして、経験や体験したことを活かした役割を持ち、生活の再構築につながるよう管理者と職員は日々の支援に努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている <b>現状は(参考項目:2,20)</b>	○ 1. ほぼ毎日のように(コロナ禍以前) 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている <b>現状は(参考項目:49)</b>	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが(コロナ禍以前) 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

事業所名

都留中津森グループホーム

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(竹とんぼ)	ユニット名(紙ふうせん)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた街で、幸せと感じる時を大切にします。一人一人の気持ちに寄り添い、ゆとりある時間を大切にする生活を支援します。という理念のもと入居者に寄り添うケアができるようにしています。	住み慣れた街で、幸せと感じる時を大切にします。一人一人の気持ちに寄り添い、ゆとりある時間を大切にする生活を支援します。という理念のもと入居者に寄り添うケアができるようにしています。	利用者が地域の中で、その人らしく暮らしていることの意味を踏まえた事業所理念がある。フロア内に掲示して、職員に意識づけされている。利用者一人ひとりの気持ちを理解して安心して暮らせるように、具体的なケアを職員間で共有して支援に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	日々の散歩の際、地域の方とあいさつをしたり会話をしたりするようにしています。地域開放祭りを毎年行い、地域に根付いたツクイとしての交流を深める機会を作っていました。現在はコロナの発生状況に合わせて対応しております。	日々の散歩の際、地域の方とあいさつをしたり会話をしたりするようにしています。地域開放祭りを毎年行い、地域に根付いたツクイとしての交流を深める機会を作っていました。現在はコロナの発生状況に合わせて対応しております。	事業所の敷地でデイサービスと合同で実施していた夏祭りには、地域住民の参加もあり交流の場となっていたがコロナ禍で中止した。また、地域ボランティアの楽器演奏、絵本の読み聞かせ、フラダンス等の受け入れ、中学生、大学生の実習も中止している。日々の散歩では、地域の人たちと挨拶をしたり会話をし、住民と関わりが途切れないようにしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の清掃活動など行っております。同敷地内にあるDSと夏祭りを合同で行い、地域の方やボランティアの方など参加され交流を行っていましたが、現在はコロナの発生状況に合わせて対応しております。	近隣の清掃活動など行っております。同敷地内にあるDSと夏祭りを合同で行い、地域の方やボランティアの方など参加され交流を行っていましたが、現在はコロナの発生状況に合わせて対応しております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	隔月に運営推進会議を開催し、入居者様ご家族や、行政担当者、民生委員に出席して頂いております。民生委員の方は毎回出席して下さい、自治会の集まりの際に当グループホームの災害時の避難等について連携が取れるように関わっていましたが、現在はコロナの発生状況に合わせて対応しております。	隔月に運営推進会議を開催し、入居者様ご家族や、行政担当者、民生委員に出席して頂いております。民生委員の方は毎回出席して下さい、自治会の集まりの際に当グループホームの災害時の避難等について連携が取れるように関わっていましたが、現在はコロナの発生状況に合わせて対応しております。	2か月に1回開催していた運営推進会議は、コロナ禍で書面開催としている。事業所での活動状況の報告等、書面にして運営推進会議のメンバー、市担当者、民生委員、家族に送って意見、助言、要望等をもらうようになっている。家族から電話がくることもあり、対応している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	文書関係での報告を行ったり、電話・FAX・郵便での情報を頂いたり、相談も随時させて頂いております。また、当グループホームとして行政と協力してできることについては模索しており協力していきたいと思っております。	文書関係での報告を行ったり、電話・FAX・郵便での情報を頂いたり、相談も随時させて頂いております。また、当グループホームとして行政と協力してできることについては模索しており協力していきたいと思っております。	運営推進会議のメンバーでもあり、事業所の実情やケアサービスの取り組みは伝えている。コロナ禍で出向くことは控えている為、解らないことがあれば電話で聞いて対応している。様々な機会を通して関りをもち、協力関係が得られるように努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	2か月に1度身体拘束廃止委員会を開催しており、話し合いを行っております。事例検討会や、DVDIによる学習会も実施しております。身体拘束禁止に関する指針を事業所内に掲示し職員への周知と意識を高める取り組みを行っております。	2か月に1度身体拘束廃止委員会を開催しており、話し合いを行っております。事例検討会や、DVDIによる学習会も実施しております。身体拘束禁止に関する指針を事業所内に掲示し職員への周知と意識を高める取り組みを行っております。	身体拘束廃止委員会を2か月に1回事業所内で実施し、事例検討会やビデオを見て勉強会を行っている。委員以外の職員には、内容を回覧して共有認識を図っている。また、本社から送られてくる資料を基に年2回事業所で研修を実施し、本社に報告している。ケアを振り返り、利用者に与える身体的、精神的苦痛を理解して、身体拘束をしないように取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	上記と同様に虐待防止についても2か月に1度話し合いを行い、職員への意識向上への取り組みを行っております。	上記と同様に虐待防止についても2か月に1度話し合いを行い、職員への意識向上への取り組みを行っております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度を利用されている入居者様が以前いらっしゃいました。職員も理解はしておりますがさらに理解が深められるように、研修も行っていきたいと思っております。	成年後見人制度を利用されている入居者様が以前いらっしゃいました。職員も理解はしておりますがさらに理解が深められるように、研修も行っていきたいと思っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・退去時にはご家族に十分に説明を行い、理解して頂いております。	契約・退去時にはご家族に十分に説明を行い、理解して頂いております。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

都留中津森グループホーム

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(竹とんぼ)	ユニット名(紙ふうせん)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口を本社・事業所に設けております。また契約時には市町村、国保連の相談窓口のご案内をしております。当事業所において直接要望をおっしゃって下さるご家族様がほとんどですが、遠慮せず仰って頂ける様な関係性の構築を図る努力をしております。	苦情相談窓口を本社・事業所に設けております。また契約時には市町村、国保連の相談窓口のご案内をしております。当事業所において直接要望をおっしゃって下さるご家族様がほとんどですが、遠慮せず仰って頂ける様な関係性の構築を図る努力をしております。	入居時に本社の相談窓口、行政でも相談、苦情を申し出て相談が出来る事を説明している。家族会や面会時に何でも言ってもらえるような関係づくりをしている。コロナ禍で面会禁止となり、家族等から直接話を聞く機会がないが、電話で話を聞いている。家族等からの要望に対しては、検討して対応している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼・毎月のミーティング時に意見や提案の出せるような環境づくりをしています。「相手を否定せず他者の意見を聞く」関係性・環境づくりをしています。	朝礼・毎月のミーティング時に意見や提案の出せるような環境づくりをしています。「相手を否定せず他者の意見を聞く」関係性・環境づくりをしています。	朝礼時や日常的に話を聞くように心がけている。管理者と職員の個人面談を定期的実施している。働き方についての問い掛けやシフト、希望休の要望についても柔軟に対応し、働きやすい環境を整えている。管理者から所長、エリア長に現場職員からの意見や情報を伝えている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務時間帯や勤務日を考慮してシフト作成を行っています。資格手当の支給や資格取得に関するお祝い金等の制度もあり、職員さんのスキルアップ向上を目指し、やりがいを持って働けるように配慮しています。	勤務時間帯や勤務日を考慮してシフト作成を行っています。資格手当の支給や資格取得に関するお祝い金等の制度もあり、職員さんのスキルアップ向上を目指し、やりがいを持って働けるように配慮しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内外の研修・行政の研修の案内を職員に周知し、受講できるように努めています。また事業所内において月1回の職員全員で研修を行い、知識・技術の取得の機会を確保していましたが、現在はコロナの発生状況に合わせて対応しております。	社内外の研修・行政の研修の案内を職員に周知し、受講できるように努めています。また事業所内において月1回の職員全員で研修を行い、知識・技術の取得の機会を確保していましたが、現在はコロナの発生状況に合わせて対応しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内のGH管理者・計画作成担当者や、DSの管理者等との交流があり、様々な情報交換や地域の情報の共有を行っております。	法人内のGH管理者・計画作成担当者や、DSの管理者等との交流があり、様々な情報交換や地域の情報の共有を行っております。		
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	直接職員がご自宅や施設へ伺いご本人の希望や現在困っていることなどのニーズの抽出を行います。またご家族様へもお話を伺い不安なく過ごして頂ける様な寄り添うケアを心がけています。	直接職員がご自宅や施設へ伺いご本人の希望や現在困っていることなどのニーズの抽出を行います。またご家族様へもお話を伺い不安なく過ごして頂ける様な寄り添うケアを心がけています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にご家族の思いや希望を伺い思いに添えるように努めます。入居されてからも連絡や日々のご様子をこまめに行い特に入居された翌日には、ご家族へ夜間等の様子をお伝えしております。	入居前にご家族の思いや希望を伺い思いに添えるように努めます。入居されてからも連絡や日々のご様子をこまめに行い特に入居された翌日には、ご家族へ夜間等の様子をお伝えしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・ご家族との情報の中から支援が必要な部分の見極めやご自身でできる事・行っていることは継続して、少しサポートしてできるようにしています。	ご本人・ご家族との情報の中から支援が必要な部分の見極めやご自身でできる事・行っていることは継続して、少しサポートしてできるようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の中の掃除・洗濯・調理・買い物などできることを一緒にを行い、コミュニケーションを図っていきます。裏にある畑では入居者様が主導となり野菜作りや花壇の手入れを行っています。	生活の中の掃除・洗濯・調理・買い物などできることを一緒にを行い、コミュニケーションを図っていきます。裏にある畑では入居者様が主導となり野菜作りや花壇の手入れを行っています。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

都留中津森グループホーム

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(竹とんぼ)	ユニット名(紙ふうせん)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	面会時にはご家族の時間を大切にするのはもちろ んのこと職員も入り日々の様子や対応に戸惑うこと の相談を行い、ご本人にとって安心して過ごせるよ うな環境づくりを目指していましたが、現在はコロナ の発生状況に合わせて対応しております。	面会時にはご家族の時間を大切にするのはもちろ んのこと職員も入り日々の様子や対応に戸惑うこと の相談を行い、ご本人にとって安心して過ごせるよ うな環境づくりを目指していましたが、現在はコロナ の発生状況に合わせて対応しております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族だけでなく、馴染みの方の面会・外出・外泊 は制限なく行っていました。現在はコロナの発生 状況に合わせて対応しております。	ご家族だけでなく、馴染みの方の面会・外出・外泊 は制限なく行っていました。現在はコロナの発生 状況に合わせて対応しております。	近所の人や親しい人、親戚等の面会があり対応してい た。また、行きつけの美容院やお墓参り、地域のお祭り、 自宅に行くなど、人や場所との関係継続の支援をしてい たがコロナ禍で中断している。電話や手紙、お誕生日に お花や洋服を送ってくるなど、つながりが途切れないよう に対応している	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せ ずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	入居者様が孤立せず、良好な関係を保てるように 職員が関わり合いを持ちながらコミュニケーション をとっています。	入居者様が孤立せず、良好な関係を保てるように 職員が関わり合いを持ちながらコミュニケーション をとっています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された方に関してもご家族様からの地域の相 談窓口として関係性を大切にしています。CM等へ の情報提供等行なっております。	退去された方に関してもご家族様からの地域の相 談窓口として関係性を大切にしています。CM等へ の情報提供等行なっております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	計画作成担当者によるモニタリングをもとに、職員 全員で共有・把握に努めています。カンファレンス の際には生活の中で見えてくるものを全体で検討・ 把握しています。	計画作成担当者によるモニタリングをもとに、職員 全員で共有・把握に努めています。カンファレンス の際には生活の中で見えてくるものを全体で検討・ 把握しています。	入居時に利用者、家族の生活に関する意向を聞いて把 握している。日頃の関わりから、利用者の思いや意向を 聞くこともあり、朝礼ノートに記録して職員間で共有して いる。意思疎通が困難な利用者には、言葉や表情から 汲み取ったり、家族から情報を得て対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に 努めている	初回面談時に生活例などをご家族・ご本人・居宅C Mより情報を頂き、収集しています。入居後にはご 本人様より会話の中から理解を深めています。	初回面談時に生活例などをご家族・ご本人・居宅C Mより情報を頂き、収集しています。入居後にはご 本人様より会話の中から理解を深めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	1日を通して様子や行動の把握を行い、情報共有を 行います。日々の変化は朝礼で共有しています。	1日を通して様子や行動の把握を行い、情報共有を 行います。日々の変化は朝礼で共有しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、 それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即 した介護計画を作成している	計画作成担当者やユニットリーダーを中心に3か月 ごとのモニタリング時にご家族・ご本人様の意思を 尊重しながら職員間で検討を行います。ご本人に 必要な計画書を大切にしています。	計画作成担当者やユニットリーダーを中心に3か月 ごとのモニタリング時にご家族・ご本人様の意思を 尊重しながら職員間で検討を行います。ご本人に 必要な計画書を大切にしています。	利用者、家族からの意見、要望を聞いてその人らしく暮 らし続けるために必要な支援を盛り込んだ介護計画を作 成している。毎月カンファレンスを行い、関係する職員で 意見交換やアセスメントを行っている。モニタリングに基 づいて3か月で見直し、現状に即した介護計画を作成し ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、個別のケアプランに沿った記録を行ってしま す。モニタリングの時やカンファレンスの振り返り時 に参考にしております。	毎日、個別のケアプランに沿った記録を行ってしま す。モニタリングの時やカンファレンスの振り返り時 に参考にしております。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

都留中津森グループホーム

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(竹とんぼ)	ユニット名(紙ふうせん)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	時代の変化や様々なニーズの変化・ご家族様の生活様式の変化に対応できるよう、GHだけでなく他サービスと積極的に意見交換を行い連携を図れるようにしていましたが、現在はコロナの発生状況に合わせて対応しております。	時代の変化や様々なニーズの変化・ご家族様の生活様式の変化に対応できるよう、GHだけでなく他サービスと積極的に意見交換を行い連携を図れるようにしていましたが、現在はコロナの発生状況に合わせて対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の学校から職業体験や実習の受け入れを行っています。避難訓練時には消防署の方、文化祭では地域の方やボランティアの方と交流を行っていましたが、現在はコロナの発生状況に合わせて対応しております。	地域の学校から職業体験や実習の受け入れを行っています。避難訓練時には消防署の方、文化祭では地域の方やボランティアの方と交流を行っていましたが、現在はコロナの発生状況に合わせて対応しております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診時は、日ごろの様子をお伝えしています。また、往診だけでなく必要時は日頃見て頂いているかかりつけ医に受診に付き添い医師の指導を受けています。	受診時は、日ごろの様子をお伝えしています。また、往診だけでなく必要時は日頃見て頂いているかかりつけ医に受診に付き添い医師の指導を受けています。	かかりつけ医の受診には職員が同行(コロナ禍の為)して日常の様子を伝えている。利用者、家族の希望で訪問医をかかりつけ医として月2回の診療を受けている。歯科や専門医の受診にも職員が同行して診療が受けられるよう支援している。看護師の訪問も週2回あり、利用者の健康管理を行っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間医療連携体制を整え、看護師が定期的に健康管理を行っています。バイタルチェック・内服薬に関する相談。排泄・食事の状況についての相談を行っています。容態の急変時には緊急対応の対応をして頂き、オンコール体制を整えています。	24時間医療連携体制を整え、看護師が定期的に健康管理を行っています。バイタルチェック・内服薬に関する相談。排泄・食事の状況についての相談を行っています。容態の急変時には緊急対応の対応をして頂き、オンコール体制を整えています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には、情報提供をしています。入院中の経過は、訪問や電話で看護師に伺い経過を把握しています。退院時にはサマリを頂き、GHでの生活の参考にして頂いています。	入院時には、情報提供をしています。入院中の経過は、訪問や電話で看護師に伺い経過を把握しています。退院時にはサマリを頂き、GHでの生活の参考にして頂いています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化した場合のGHの対応について、ご家族へ説明しております。日頃より、かかりつけ医・ご家族様と連携を図っており、協力を頂いております。	契約時に重度化した場合のGHの対応について、ご家族へ説明しております。日頃より、かかりつけ医・ご家族様と連携を図っており、協力を頂いております。	入居時に事業所が対応し得る終末期のケアについて説明を行っている。同時に「看取りについての事前意思確認書」への記入をお願いしている。重度化や看取りに関する指針もあり、事業所で看取りをする時の取り組みも詳細に書かれている。主治医によりその状態が終末期と判断された時は、利用者、家族等と話し合いの機会を持ち、随時意志を確認しながら方針を決めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	営業所内で行う研修や消防署による研修の参加を促していましたが、現在はコロナの発生状況に合わせて対応しております。急変時や屋外事故発生時など職員が適正な対応が出来る様、MT等で研修を行っています。	営業所内で行う研修や消防署による研修の参加を促していましたが、現在はコロナの発生状況に合わせて対応しております。急変時や屋外事故発生時など職員が適正な対応が出来る様、MT等で研修を行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災(地震や水害)を想定した訓練を年二回行っています。夜間帯や状況に合わせた対応ができるようにその都度状況を変えて行っています。	火災(地震や水害)を想定した訓練を年二回行っています。夜間帯や状況に合わせた対応ができるようにその都度状況を変えて行っています。	年2回避難、誘導訓練を実施している。デイスサービスとの合同で消防署が立ち合い避難と消火器の使い方の指導を受けている。事業所独自でも日中や夜間を想定して利用者と一緒に避難、誘導訓練を行っている。水害も想定され2階への避難訓練をしている。夜間地震の際には、停電し職員が駆け付け対応した。	コロナ禍の為、デイスサービスと合同での訓練は実施していない。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様は人生の先輩であり、言葉がけには職員全員で気を付けています。お客様の帳票や個人情報の取り扱いには外部の方の目に触れないように配慮しています。	入居者様は人生の先輩であり、言葉がけには職員全員で気を付けています。お客様の帳票や個人情報の取り扱いには外部の方の目に触れないように配慮しています。	居室に入る時はノックしてから入り、トイレ介助する時もドアは開けて、プライバシーに配慮している。トイレ誘導する際にもさりげない言葉かけをして、利用者を傷つけてしまわないように努めている。利用者を撮影した映像の使用に関する同意書があり、プライバシーが守られている。	

自己評価および外部評価結果

事業所名

都留中津森グループホーム

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(竹とんぼ)	ユニット名(紙ふうせん)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	帰宅願望の強い方、外出をしたい方など職員がつきそいでその都度ご本人の意思の尊重を図っています。ご入居者様が自己決定できるような支援を心がけています。	帰宅願望の強い方、外出をしたい方など職員がつきそいでその都度ご本人の意思の尊重を図っています。ご入居者様が自己決定できるような支援を心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人のペースで生活して頂けるように、施設の間だけでなくその方に寄り添いながら日々の時間を過ごしていただいております。また、面会時は居室にてゆっくりと過ごして頂けるようにしていましたが、現在はコロナの発生状況に合わせて対応しております。	ご本人のペースで生活して頂けるように、施設の間だけでなくその方に寄り添いながら日々の時間を過ごしていただいております。また、面会時は居室にてゆっくりと過ごして頂けるようにしていましたが、現在はコロナの発生状況に合わせて対応しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2か月に1度美容師が来所します。ご本人の希望に合わせたスタイリングにして頂いておりますが、現在はコロナの発生状況に合わせて対応しております。また、記念日や外出の時など職員がお手伝いを行いながら口紅やマニキュアなどおしゃれができるように努めています。	2か月に1度美容師が来所します。ご本人の希望に合わせたスタイリングにして頂いておりますが、現在はコロナの発生状況に合わせて対応しております。また、記念日や外出の時など職員がお手伝いを行いながら口紅やマニキュアなどおしゃれができるように努めています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お食事のお手伝いとして盛り付けや配膳を行って頂いております。食後も食器ふきや机ふきなど行います。季節感を重視して旬のものやイベントの食事、出前など楽しんでいただいております。	お食事のお手伝いとして盛り付けや配膳を行って頂いております。食後も食器ふきや机ふきなど行います。季節感を重視して旬のものやイベントの食事、出前など楽しんでいただいております。	主菜、副菜は調理済みで届けられている。温めるなど手を加えて盛り付け配膳している。ご飯、汁物は事業所で作っている。利用者も出来る事の手伝いをしている。食事形態も利用者に応じてムース食等の対応をしている。月に数回は利用者の好みの物を出前で頼み、夕食にして食の楽しみになっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食事量・水分量を記入し把握しています。個々に合わせた食事形態での提供を行っており常食・ミキサー食・ムース食やとろみを使い提供しています。	個々の食事量・水分量を記入し把握しています。個々に合わせた食事形態での提供を行っており常食・ミキサー食・ムース食やとろみを使い提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後歯磨きをして頂くように口腔ケアへの声掛けを行っています。義歯の状態に合わせてスポンジや歯磨きティッシュを使い誤嚥の予防に努めてもらいます。	食後歯磨きをして頂くように口腔ケアへの声掛けを行っています。義歯の状態に合わせてスポンジや歯磨きティッシュを使い誤嚥の予防に努めてもらいます。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のチェック表を用いて、トイレでの排泄ができるように時間での誘導や声掛けを行い、その人にあった排泄介助を行っています。排泄支援や自立に向けた取り組みを行っています。	排泄のチェック表を用いて、トイレでの排泄ができるように時間での誘導や声掛けを行い、その人にあった排泄介助を行っています。排泄支援や自立に向けた取り組みを行っています。	排泄チェック表を使用して、個々の利用者のパターンを把握してトイレでの排泄を支援している。綿パンツ、尿取りパット、リハビリパンツ、オムツ等利用者の状態にあった排泄用品を使用している。尿意の無い利用者にも時間を見計らって誘導することで、パットの大きさ等排泄用品を見直す取り組みをしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヤクルトや乳製品、水分を多く取ってもらい、バランスの良い食事で予防しています。毎日の運動や外気浴を行い自然排便ができるように促しています。	ヤクルトや乳製品、水分を多く取ってもらい、バランスの良い食事で予防しています。毎日の運動や外気浴を行い自然排便ができるように促しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日は決めておらず、週に2.3回入浴できるように心がけています。本人の希望や体調に合わせて気持ち良く入浴していただき、清潔保持を行います。	入浴日は決めておらず、週に2.3回入浴できるように心がけています。本人の希望や体調に合わせて気持ち良く入浴していただき、清潔保持を行います。	毎日午前、午後の入浴を予定している。利用者のその日の希望を確認して支援している。お風呂は個浴であるが、重度化してもバイタルに留意して医師の判断を得て、利用者が希望する限り入浴できるようにしている。入浴が嫌いな利用者には、声かけや対応の工夫をして無理強いないようにしている。	

自己評価および外部評価結果

事業所名

都留中津森グループホーム

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(竹とんぼ)	ユニット名(紙ふうせん)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間帯に安眠ができるように、日中は外気浴や運動を行いご利用者様全員で体操など行っています。中でも、お昼寝の時間など急速の時間もここに合わせて作っています。	夜間帯に安眠ができるように、日中は外気浴や運動を行いご利用者様全員で体操など行っています。中でも、お昼寝の時間など急速の時間もここに合わせて作っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬については、薬情を参考にし職員が博しています。変更時には職員が把握できるように共有し日々の様子とともに申し送りを行っております。	薬については、薬情を参考にし職員が博しています。変更時には職員が把握できるように共有し日々の様子とともに申し送りを行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々のできる事、好きなこと、得意なことをできるように職員がサポートしていきます。花の水やりや畑仕事、塗り絵や折り紙、TVや音楽鑑賞など役割をもって頂いております。	個々のできる事、好きなこと、得意なことをできるように職員がサポートしていきます。花の水やりや畑仕事、塗り絵や折り紙、TVや音楽鑑賞など役割をもって頂いております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	毎日、散歩や外気浴を行っております。天気の良い日は外で体操やおやつを食べたりとできるだけ多く外出の機会を作っています。季節に応じて外出を行い、またご家族様ご希望の場合は家族との外出もして頂いておりますが、現在はコロナの発生状況に合わせて対応しております。	毎日、散歩や外気浴を行っております。天気の良い日は外で体操やおやつを食べたりとできるだけ多く外出の機会を作っています。季節に応じて外出を行い、またご家族様ご希望の場合は家族との外出もして頂いておりますが、現在はコロナの発生状況に合わせて対応しております。	「毎日外の空気に触れ季節を肌で感じ、気分転換を図れるような支援」が事業所の信条としてあり、日常的には散歩して実践している。コロナ禍ではあるが、感染対策をして少人数でのドライブをしている。季節を感じる紅葉や梅の花を見に行く等外出支援に努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	法人の規定により、事業所には現金を置いてはいけないことになっています。買い物のご希望があった場合は、ご家族に承諾を経て事業所立替で購入しています。	法人の規定により、事業所には現金を置いてはいけないことになっています。買い物のご希望があった場合は、ご家族に承諾を経て事業所立替で購入しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族からのお手紙が届くことがあります。ご本人にお渡ししています。届いた際には電話をかけ、ご家族に確認し対応しています。	ご家族からのお手紙が届くことがあります。ご本人にお渡ししています。届いた際には電話をかけ、ご家族に確認し対応しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日中は居室にこもっている方はほとんどおらず、テーブルの席に座ってお話をされたり各々の時間を過ごされております。共有部分では清潔を心がけ、季節のお花屋飾り、居心地よく過ごせるようにしています。	日中は居室にこもっている方はほとんどおらず、テーブルの席に座ってお話をされたり各々の時間を過ごされております。共有部分では清潔を心がけ、季節のお花屋飾り、居心地よく過ごせるようにしています。	玄関から2階の階段に続くスペースにはテーブルとイスが置かれ、ちよつとしたくつろぎの場になっている。トイレや浴室も手すりが付き、利用者が安心して使用している。食堂を兼ねたりリビングには畳のスペースがあり、季節の花や季節感のあるものを飾り、暮らしの場を整えている。コロナ感染症対策として加湿器、換気、仕切り版の設置等配慮した対応を行っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席の配慮を行い、談笑されたり、TVを見たり、おひとりご趣味の時間を楽しまれながら過ごして頂ける環境づくりをしています。	席の配慮を行い、談笑されたり、TVを見たり、おひとりご趣味の時間を楽しまれながら過ごして頂ける環境づくりをしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使用していたものやなじみ深いもの、ご家族様からのプレゼントなど配置され、違和感なく過ごして頂けるようにしています。	ご自宅で使用していたものやなじみ深いもの、ご家族様からのプレゼントなど配置され、違和感なく過ごして頂けるようにしています。	居室にはエアコン、クローゼット、ハンガー掛け、カーテンが備えてある。ベット、寝具、鏡台等の家具やテレビ等の備品類も個々の好みで配置して、その人らしい居室になっている。自宅での習慣と同じようにベットではなく、布団を敷いて就寝している利用者もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物全体がバリアフリーとなっております。IHの使用ですので火の元の心配もありません。手すりは廊下やトイレ玄関お風呂など各場所に設置されています。居室には表札もあり迷うことなく行き来ができるようになっています。	建物全体がバリアフリーとなっております。IHの使用ですので火の元の心配もありません。手すりは廊下やトイレ玄関お風呂など各場所に設置されています。居室には表札もあり迷うことなく行き来ができるようになっています。		